



令和6年度 パーパス・業務の見直し効率化アワード (令和7年度表彰)



総務部行政経営推進課

■表彰の目的

「パーパス実践」や「業務の見直し効率化」の取組において、特に成果があった所属に対し、表彰を行うことで、これらの取組を継続して行う組織的な機運を醸成するとともに、優れた事例の全庁展開を図る。

■表彰部門および表彰数

部門	詳細	表彰数
① パーパス実践部門	パーパスを動機にして身近な業務から実践し、職員への意識づけやパーパス実践の広がり貢献するもの	知事賞 1件 特別賞 1件
② 業務の見直し効率化部門	時間短縮や事務手間の削減等、ヒト・財源の配分シフトに大きく貢献したものや、現場での要望等を基に改善を図り、県民サービスの向上に大きく貢献したもの	知事賞 1件

業務の見直し効率化部門 【知事賞】

所属名:環境政策課

業務名:第一種フロン類充填回収業者の登録申請業務



改善内容の概要	書面(収入証紙あり)のみで受付していた事務について、しがネット受付サービスを活用した電子収納や国の登記情報連携システムを活用して、完全電子での申請を可能とした。
主な改善効果	約125時間/年の時間削減、紙の削減、申請者の負担軽減
評価のポイント	新規採用職員が先輩職員の助言を得ながら課題を整理し、様々なデジタルツールを積極的に活用してゼロ予算で電子申請化を実現。

パーパス実践部門 【知事賞】

所属名:道路保全課

取組名:歩行者よし、ドライバーよし、社会よし！
三方よしの横断歩道



取組内容の概要	課内の若手職員を中心に滋賀県職員の志(パーパス)をもとにしたキャッチフレーズ「歩行者よし、ドライバーよし、社会よし！三方よしの横断歩道」を設定。各所属に公用車用のマグネットシートを配布し、公用車に貼りつけて走行することで、県民に向けてのPRを行い共感の輪を広げた。
評価のポイント	公用車を運転する職員が自発的に取り組むことができ、全庁での実践に加え、県民への広がりも期待できる県民目線の実践であることを評価。

パーパス実践部門

【特別賞】

※ 職員投票において最多の得票を集めたもの。

所属名:文化スポーツ部、商工観光労働部、農政水産部

取組名:滋賀県の発酵食文化「鮎ずし」を題材とした

3部門連携による職員研修の実施



取組内容の概要	滋賀県が全国に誇る発酵食文化である「鮎ずし」が、水産業だけでなく、観光や文化など、幅広い分野に関係する資産であることに着目。県政を担う職員がその魅力や価値への理解を更に深めることを目的に職員研修を実施した。
評価のポイント	多様な観点から鮎ずし文化を学ぶことで、部門間、職種間の壁を越えて協働を生み出す取組となっている。